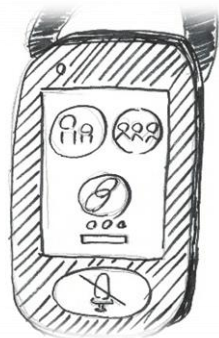


Q・015

「校外学習や修学旅行について、どんな準備や配慮が必要ですか？」



校外学習や修学旅行は楽しみですが、補聴器や人工内耳を活用するうえで、様々な配慮が必要になります。

まず、補聴援助システムのマイクを誰に使ってもらうか考えましょう。通常は、担任の先生に使ってもらいますが、説明するのがガイドさんなら、話す人に使ってもらいます。

班別活動をする場合は、マイクをどのように使うのかを考えておきましょう。班長に使ってもらう人が多いです。

次に、雨や雪への対応です。濡れないように帽子をかぶったり、防寒用のイヤーマフで覆ったりする人もいました。

湖でカッターをこぐときには、人工内耳をつけた側を船の内側にしたり、万が一人工内耳を落としても、湖に落ちないように座席を配慮してもらったりした人もいました。

そして、宿泊をとまなうと、補聴援助システムや人工内耳は充電が必要です。充電

器を準備するとともに、どの部屋で誰が充電するのか、決めておく必要があります。補聴器なら予備の電池も必要です。忘れないようにしましょう。

また、「朝、どうやって起きるのか？」と心配する人も多いです。補聴器や人工内耳を、外して寝ると聞こえないからです。友だちや先生に起こしてもらえよう頼む人が多いです。

校外学習や修学旅行では、具体的な場面を想定して、考えておきましょう。不安なことはおうちの方や担任の先生、通級の先生と相談しておきましょう。

